

市民協働課で交付決定した事業(平成27年度)

No.	団体名	事業名	事業概要
1	チャイルドラインにいがた	「子どもが育つ・地域で育む・未来をつくる」	子どもとの関わり方を学ぶ講演会とワークショップ
2	NPO法人 新潟キャリア・コンサルタント協会	メンタリング講座	助言と対話による自発的な成長を促す手法の講座
3	ACジャパン講演会実行委員会	講演会「みんなで考えましょうみんなのこと」	ACジャパンの活動テーマについての講演会
4	新潟日米協会	国際交流・異文化理解イベント	ハロウィーンイベントを通じて異文化を学ぶ
5	スペシャルオリンピックス日本・新潟	トキめけ☆キラめけ 知的障がい児者とスポーツで交流しよう	障がい者とスポーツを通じて交流し理解を深める
6	「武器をアートに」新潟実行委員会	武器をアートに(モザンビークからのメッセージ)	「武器をアートに」展示店を開催しワークショップを行う
7	一般社団法人田から屋	高齢者の不安解消と元気づくり	相続・遺言・成年後見等に関するセミナーを開催する

事業報告書

(1) 事業名	チャイルドラインにいがた15周年記念事業 「子どもが育つ・地域で育む・未来をつくる」
(2) 事業の実施期間	平成27年5月7日～平成27年6月19日
<p>(3) 事業の実施内容</p> <p>世界ナンバーワンヒップホップダンサーである ISOPP さんを招いて講演とワークショップを開催した。また、チャイルドラインにいがた15年の歩みと今後の活動についての紹介をおこなった。</p> <p>日時：平成27年5月24日（日）13：30～ 場所：江南区文化会館ホール 参加人数：100人（一般62人、高校生4人、中学生以下34人、一般には招待者17人を含む）</p> <p>【事業準備などの実施日】</p> <p>平成27年5月7日 ミーティング、チラシ製作、告知、広報開始 5月11日 チラシ配布 5月17日 運営ミーティング 5月18日 会場視察・現地ミーティング 5月20日 新潟日報掲載 5月23日 最終確認ミーティング 5月24日 15周年記念事業の開催 6月19日 実績報告書の提出</p>	
<p>(4) 事業による成果及び今後の課題</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演で、成績が自分自身を決める全てではなく、優劣を決定するものではない。成績で自分をダメと思わなくていい。夢を持つこと。自分を信じることの大切さを子供も大人も一緒に学んだ。 ・後日、保護者から『中学生の娘が、家に帰って、突然「今の私には勉強ぐらいしかできない」と話して勉強を始めました。普段は言ってもやらないので驚きました。大変感謝しています。』とご連絡を頂戴した。 ・ワークショップでは、参加者が ISOPP 氏の指導のもと、リズムで体を動かすことでストレスが発散されることや気分の変化を体験した。さらに、大人が子供と同じ体験をすることで、子供の気持ちに寄り添った関わり方、言葉のかけ方を体験的に学習した。その結果、実際に体を動かした大人と子供の間で自然と笑顔で会話が交わされた。 ・チャイルドラインにいがたの15年間の活動を知らない大人も多く、興味深く活動内容に耳を傾けていた。「ボランティアとして参加したい」とご協力もいただいた。また、子供たちも、チャイルドラインのフリーダイヤルにかけてみたい。と興味をもってもらえた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャイルドラインの活動は参加者の半分以下しか知らず、さらに広報活動やボランティア活動を通じて、たくさんの方に、チャイルドラインの存在や支援者として関われる場があること、話をできる場があることを知ってもらう必要がある。そのための活動も今以上に積極的に取り組む必要がある。今後も子どもに寄り添える大人の育成支援や、子どもの気持ちに寄り添い支える活動に取り組んでいく。 	

①

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
参加費	¥115,000	¥47,500	大人@1,000(前売り)×44人 大人@1,500(当日)×1人 高校生@500×4人
助成金	¥200,000	¥200,000	新潟市地域活動補助金
自己資金	¥106,240	¥154,292	
合 計	421,240	401,792	

収支決算書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の充 当先	摘 要
(ア) 会場利用料	7,000	7,000		新潟市江南区文化会館(講師楽屋・スタッフ準備室) 2室7,000円
(イ) 会場設備利用料	52,800	29,400		新潟市江南区文化会館音響設備 使用料(音響・ビデオプロジェク ター、演台等)
(ウ) 消耗品費	44,000	40,672		横断幕(180cm×45cm x3枚)コ ピー用紙・鉛筆他の文具・インクカー トリッジ・記録用SDカード64GB
(エ) デザイン料	20,800	21,600		横断幕デザイン
(オ) 報償費	180,000	180,000	◎	講師謝礼(交通費込)
(カ) 印刷費	116,640	116,640	○	チラシデザイン、印刷費(8,000枚 一枚単価@10.395円)、チケット (300枚 一枚単価@111.6円)
(キ) 賃借料	—	6,480		ビデオ撮影機器一式レンタル 記録用カメラ故障のため、当日急 遽レンタル
合 計	421,240	401,792		

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	NPO法人新潟キャリア・コンサルタント協会平成27年度公開講座								
(2) 事業の実施期間	平成27年6月20日 ～ 平成27年8月18日								
(3) 事業の実施内容	<p>大野雅之氏を講師に招き、子育て・人材育成・カウンセリング・医療・福祉の場で役立つメンタリング講座と題して講演を行ってもらった。</p> <p>日 時 平成27年7月18日(土) 14時～15時30分 場 所 ほんぼーと中央図書館多目的ホール 参加人数 54人(一般34人会員20人)</p> <p>【事業準備等の実施日】</p> <table><tr><td>平成27年 6月 20日</td><td>協会ホームページに広告掲載開始</td></tr><tr><td>平成27年 6月 20日</td><td>チラシ配布開始</td></tr><tr><td>平成27年 7月 18日</td><td>講演会の開催</td></tr><tr><td>平成27年 8月 18日</td><td>実績報告書の提出</td></tr></table>	平成27年 6月 20日	協会ホームページに広告掲載開始	平成27年 6月 20日	チラシ配布開始	平成27年 7月 18日	講演会の開催	平成27年 8月 18日	実績報告書の提出
平成27年 6月 20日	協会ホームページに広告掲載開始								
平成27年 6月 20日	チラシ配布開始								
平成27年 7月 18日	講演会の開催								
平成27年 8月 18日	実績報告書の提出								

(4) 事業による成果及び今後の課題

【成果】

・講演では参加者のメンタリングに対する理解を向上させ、組織の活性化等や個人に対するモチベーションの向上にメンタリングが非常に有効であることが分かった。多くの参加者は講師の話に真剣に耳を傾け今後の組織活性化や部下等の育成等に対して重要なヒントを得た様子であった。

【課題】

- ・講演会ではメンタリングの重要性について理解が進んだが、実際に活用できるより具体的な技術面での提案が無かった。
- ・今後は組織や個人のモチベーションアップについていかにメンタリングが有効か協会の様々な活動の中で市民に伝えていく仕組みを検討したい。

②

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	36,000	31,000	新潟市からの補助金
参加費	20,000	27,000	500円×54人
自己負担	16,730	4,308	NPO新潟キャリア・コンサルタント協会 一般会計より
合 計	72,730	62,308	

②

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
講師報酬	35,000	35,000	○	講演講師料
交通費	21,680	21,860	◎	東急田園都市線 駒澤大学～渋谷 @160円×2 東京メトロ半蔵門線 渋谷～東京 @200円×2 JR新幹線 東京駅～新潟駅 @10,570円×2 利用ルート変更等のため金額変更
コピー代	11,250	0		講演会当日の配布資料は無。 (パワーポイントのみ)
会場費	4,800	4,800		ほんぽーと施設使用料
振込手数料	0	648		講師報酬・交通費振り込み分手数料
合 計	72,730	62,308		

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、
収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	講演会「みんなで考えましょう、みんなのこと」
(2) 事業の実施期間	平成27年8月25日 ～ 平成27年10月2日
(3) 事業の実施内容	
<p>・最近、自己中心的な考えが広まってきており公共的意識が希薄となっている。おたがい様、おもてなしの精神に欠けていることがわからない現状がある。そのため、広告を通じてACジャパンの訴える支援活動・課題を講師から学び、市民のボランティア意識を向上させるきっかけ作りを提供するため、講演会を開催した。</p> <p>日時：平成27年9月26日（土）午後2時～4時 会場：新潟日報メディアシップ 20階そらの広場 参加人数：45名 講演内容：・ACジャパンの活動を正しく理解してもらうため、「みんなで考えましょう」とACジャパンの成り立ち、活動内容、公共広告に関する説明を発表。過去40年の歴史ある公共広告を映像で紹介。 ・最新キャンペーンのポスターを会場に展示し、市民へ目でメッセージを訴えた。 ・ACジャパンの活動の基本は、広告を通じて、少しでも世の中の役に立つ活動を行っていくこと。有意義なボランティア活動であることを広く世の中に知ってもらうためには質の高い広告によって人々の心を捉え、強く印象つけていく必要があることを伝えた。</p>	
(4) 事業による成果及び今後の課題	
<p><成果></p> <p>・長年にわたり、テレビやラジオ、雑誌等で公共広告を訴えているACジャパンの活動を紹介し、市民の公共的意識、おもいやりの優しい気持ちが高まり、市民のボランティア意識の向上を図ることができた。</p> <p><課題></p> <p>・毎年新しい公共広告が発表されるので、新潟での展示会を継続して行うなどして新潟市民の優しい心呼び起こし、継続、そして引き継いでいけるよう事業を進めていくこととしたい。</p>	

③

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	77,000	77,000	新潟市からの補助金
協賛金	77,666	77,666	賛助団体からの協賛金
以下余白			
合 計	154,666	154,666	

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
報償費	80,000	80,000	○	講師謝礼 狩野 雄司氏 80,000円 (交通費含)
消耗品費	10,000	10,000		会場看板
印刷製本費	1,510	1,510		当日配布資料コピー
通信費	0	0		
賃借料	62,376	62,376		会場使用料 28,680円 音響・映像機器等借用 33,696円
食糧費	780	780		講師昼食代
合 計	154,666	154,666		

- ※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。
- ※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	国際交流・異文化理解イベント実施事業 Kids English Halloween Party
(2) 事業の実施期間	平成 27 年 9 月 14 日 (月) ～ 平成 27 年 12 月 18 日 (金)
(3) 事業の実施内容	<p>(イベント参加者：36 名、参加者の兄弟姉妹 19 名、保護者 1 名、計 56 名出席)</p> <p>初めて子供向けのハロウィーンイベントを実施するにあたり、子供たちには仮装して参加してもらうことや、小学生の年代でハロウィーンイベントへの関心が高いのかどうか、開催前には不安要素もあったが、募集開始直後から、多数のお申込をいただき、定員を増枠し対応した。(9/14DM 発送、9/14 小学校棚入れ→10/5 〆切予定：9/24 受付終了)</p> <p>会長挨拶の中で、ハロウィーンの由来や歴史、楽しみ方などを解説し、6 グループに分かれてチームごとにゲームに取り組んでもらった。大きく分けて 3 つ行った。</p> <p>1 つ目は、仮装パレード。チームごとに行進し、決められた位置でポーズを取り、それぞれの仮装を披露してもらった。手作りのアクセサリや衣装もあり、レベルの高い仮装だった。</p> <p>2 つ目は、チーム対抗リレー。長い廊下を走って、がいこつパズルを完成させるゲーム。自分が持ってきたピース(骨)がどこにあてはまるのか、チームメイトや講師が協力しながらパズルを組み立てるためチームが一体となり、参加者同士が仲良くなれるきっかけとなった。</p> <p>3 つ目は、ミステリアスツアー。4 つのミッションをクリアするというゲームで、封筒に入っている指示を外国人講師とともに読み解きながら、校舎内を探検し、エリア(教室)ごとに決められたミッションを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドーナツルーム＝1 つのドーナツを 2 人で分け、食べ終わったら合言葉を言いお菓子を貰う。 ・Eyeball ルーム＝2 人一組になり、一人が目玉(ピンポン球)を投げ、もう一人がバケツでキャッチした。全員が終わったら、合言葉を言いお菓子を貰う。 ・じゃんけんルーム＝学生一人とチーム全員が「Rock-Paper-Scissors」の掛け声でじゃんけんを行い、勝った子供は合言葉を言いお菓子を貰う。 ・パンプキントス＝階段に置かれたバケツ目掛けて、かぼちゃ(ビニールボール)を投げ入れる。3 球のうち 1 つでも入ったら、合言葉を言いお菓子を貰う。 <p>最後に、新潟日米協会幹部によるコスチューム審査を行い、3 名の子供を選出。賞品のお菓子をプレゼントした。</p>
(4) 事業による成果及び今後の課題	<p>ミッションをクリアするごとに、「Trick or treat!」と合言葉を言い、クリアした内容に応じてお菓子をもらった。参加者たちは、一つ一つに一生懸命取り組んでいた。</p> <p>またミッションは、2 人 1 組やグループ対抗で行ったため、初めて会った子供同士だったが、お互いに協力したり励ましあったりする様子が窺えた。</p> <p>実施後のアンケートでは、</p> <p>子供たちから参加動機として「英語が好きだから」が多く、英語への関心の高さが窺えた。また、イベントを通して「英語が嫌いだけど、好きになった」という回答もあり、活動を通して、苦手意識を取り除き、国際交流や異文化理解を促す役割を担えた。</p> <p>保護者からのご意見として、「もっと子供たちが英語を使う場面が多い方がいい」というご指摘をいただいた。参加者によりレベルが異なるため、英語を使ったクイズなどは用意せず、ハロウィーンにちなんだゲームを行う中で、外国人講師と会話をし、自然と使ってもらった場面があったが、いつ、どのように英語を使ったのか(話したのか)、見学している保護者からは様子がわからなかったためだと思われる。今後、同様のイベントを行う際には、苦手意識を与えずに、英語にもっと取り組んでもらえるような内容を組み立てられるよう課題としたい。</p> <p>他に、日頃あまり接する機会のない外国人の方々とふれあう機会が持ててよかったという意見や、ハロウィーンイベントに初めて参加したが、大変楽しくいいイベントだったという意見をいただいた。</p>

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
新潟市補助金	75,000	75,000	地域活動補助金
自己負担	75,374	75,374	新潟日米協会にて負担
合 計	150,374	150,374	

収支決算書

Ⅱ 支出

(単位：円)

項目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘要
印刷製本費	21,200	(a) 21,200		ご案内(チラシ・カラー印刷)3,000枚 送付状・プログラム等印刷費 500枚
通信費	16,276	(b) 16,276	◎	会員・過去イベント参加者向け案内 メール便料金 14,240円 参加者お礼状 2,036円 (撮影写真等郵送料)
食糧費	17,865	(c) 17,865	◎	参加者用飲料 @100×10, @130×26(4,380円) 参加者用菓子代 36名分 10,915円 参加者兄弟姉妹様飲料@130×19(2,470円) 保護者用飲料 @100×1(100円)
報償費	50,000	(d) 50,000		外国人講師謝礼 @10,000×5名 (50,000円)
消耗品費	45,033	(e) 45,033	◎	Halloween装飾用品、仮装グッズ 学習活動用事務用品 お礼状ハガキ用紙・A4用紙
合計	150,374	150,374		

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	トキめけ☆キラめけ 知的障がい児者とスポーツで交流しよう
(2) 事業の実施期間	平成27年9月25日 ～ 平成27年10月30日
(3) 事業の実施内容	
<p>・新潟においては、知的障がい児者との交流の機会が少なく、スペシャルオリンピックスの活動が広く知られていないためポスターやチラシを配布し、広く市民に呼びかけをした。</p> <p>日 時：平成27年10月3日（土）午前9時半～11時半 会 場：新潟市北区スポーツセンター 参加人数：42名 内 容：障がいの有る人もない人も一緒に屋内スポーツを楽しんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボーリング ・バスケットボール ・卓球 ・大縄跳び ・パン食い競争 ・バドミントン 	
(4) 事業による成果及び今後の課題	
<p><成果></p> <p>・障がいの有る人も無い人も楽しく交流することができたことにより、親交が生まれ、今後の障がい者スポーツへの理解を深めることができた。また、引き続きボランティアとしてイベント参加などの障がい者支援に協力してもらえる雰囲気づくりができた。</p> <p><課題></p> <p>・引き続き、スペシャルオリンピックスの活動に参加してもらえるよう、感謝の集いの開催や各種プログラムの開催案内などを継続して伝達して道筋が途絶えないようにしていく。</p>	

5

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	8,000	8,000	新潟市からの補助金
協賛金	4,848	4,848	賛助団体からの協賛金
参加費	4,200	4,200	一人100円×42人
合 計	17,048	17,048	

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位: 円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
消耗品費	13,248	13,248	○◎	会場看板 @ 5,000円 スポーツ用具材料 @8,248円
印刷製本費	1,740	1,740		コピー代
保険料	1,000	1,000		行事保険
食糧費	1,060	1,060		パン食い競争用パン代
合 計	17,048	17,048		

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。
 ※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。
 また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	武器をアートに～モザンビークからのメッセージ～
(2) 事業の実施期間	平成 27 年 11 月 20 日 ～ 平成 28 年 3 月 10 日
(3) 事業の実施内容	<p>本事業は「武器をアートに」展示会の開催、及び、新潟大学の学生・留学生と新潟市民の交流の場を創出することを目的とし、学生・留学生・市民共同で事業を実施した。展示会開催中には、ワークショップ、講演会、コンサートを行うことでより多くの市民との交流を図った。なお、それらの内容は以下の通りである。</p> <p>1月16日 ～2月21日 会場：駅南キャンパスときめいとA・B 来場者：720人 展示会：モザンビークの内戦で実際に使用された武器をアートに変えた作品15点を展示した。また、パネル、写真、本を置き、訪問者がモザンビークにおける平和構築への試みについて知ることが出来るようにした。</p> <p>1月17日 会場：駅南キャンパスときめいと講義室A・B 参加者：30人 ワークショップ：世界の「暴力」、私たちとの関係 留学生と学生による世界各国の暴力についての発表と交流会を開催した。具体的には、メキシコにおける麻薬貿易、ブラジルにおける銃犯罪、台湾と中国の政治関係、モンゴルにおける銃と狩猟の関係、モザンビークにおける開発問題についての発表を行った。</p> <p>1月24日 会場：駅南キャンパスときめいと講義室A・B 参加者：10人 講演会：いま、「平和な社会」とは何か 平和学的視点から現代の社会について考えることを目的として、新潟国際情報大学教授・平和学会会長である佐々木寛先生を迎え講演会を開催した。</p> <p>2月7日 会場：駅南キャンパスときめいと講義室A・B 参加者：20人 ワークショップ：多分野から「武器」について考える 学生による発表と交流会（工学、経済学、社会学）を開催した。具体的には、工学的視点から武器になりうる身近なもの、経済学的視点から経済的戦争、社会学的視点からジェンダーについての発表をした。</p> <p>2月14日 会場：プラーカI地下1階吹抜エリア 来場者：70人 コンサート：The Sound of Peace-Making～平和構築の奏～ 演奏者：経麻朗&細木久美 JAZZDUO、アイリッシュ音楽ほたるんず 演奏者2組を迎え、平和構築をテーマに JAZZ およびアイリッシュミュージックのコンサートを開催した。</p>
(4) 事業による成果及び今後の課題	<p>展示会および各イベントにおいて新潟大学の学生、留学生、新潟市民の交流を促進することができた。また、今まであまり知られてこなかった平和構築活動やアジア・アフリカ・中南米などの各国に対する国際理解を深めることができた。さらには、国際大学の学生との交流にもつながった。</p> <p>今後も国際交流・国際理解を推進するための手法を検討し、効果的な活動に努めていく。</p>

⑥

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	200,000	198,000	新潟市地域活動補助金
寄付	210,000	150,000	一口2,000円×75人(有志賛同者から)
実行委員持ち出し		49,813	
合 計	410,000	397,813	

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
作品輸送料	300000	240,967	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川県あーすぶらざから新潟大学 200,432円 ・ 作品受け取り片道分(神奈川～新潟) 10,050円 ・ 返却費用(新潟大学から南魚沼市の国際大学まで)トラックレンタル料17,405円 + 高速料金10,550円+ガソリン代2,530円
作品レンタル料	64800	70,416		(15作品×4,320円) + 税金 + 振込手数料
交通費	0	16,012		学生警備員定期券(新潟大学前～新潟) 7,130円 + 講師打ち合わせ(新潟市西区～燕市) 1,310円 + 駐車代2,600円 + 国際大学留学生交通費4,972円 (22円 * 113km * 2)
講師謝礼金	15,000	26,000	◎	6名(新潟国際情報大学教員1名、コンサート演奏者5名を招待)
印刷費	24,700	20,004	◎	展示会チラシ・ポスター12,010円、パネル4,810円、コンサートチラシ3,024円、コピー160円
消耗品費	5,000	14,679	◎	展示会用物品(パネル、布、文房具、ピース、フォトフレームなど)
食糧費	500	3,120	◎	講師・演奏者食料費
通信費	0	6,615	◎	各種連絡用携帯電話SIMカード(3,242円)、郵送料(3,273円)、ファクス料金(100円)
合 計	410,000	397,813		

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	高齢者の不安解消と元気作り
(2) 事業の実施期間	平成 27年 12月 25日～平成 28年 3月 31日
(3) 事業の実施内容	<p>1) 落語で学ぶ終活&うたごえ喫茶</p> <p>会場 ホテルイタリア軒 12F ゴンドリーナ 日時 平成28年1月21日(木) 13時30分から15時30分 参加費 1200円(コーヒー,デザート付き) 参加者 62名(会員登録 14名)</p> <p>2) 落語で学ぶ終活&みんなで歌おうフォークソング</p> <p>会場 ホテルイタリア軒 12F ゴンドリーナ 日時 平成28年2月21日(日) 13時30分から15時30分 参加費 1200円(コーヒー,デザート付き) 参加者 47名(会員登録 5名)</p> <p>3) おいしく楽しく認知症予防 講習会 &狩野泰一 篠笛コンサート (本物の感動でリフレッシュ)</p> <p>会場 ホテルイタリア軒 12F ゴンドリーナ 日時 平成28年3月21日(月,祝) 13時30分から15時30分 参加費 2000円(コーヒー,デザート付き) 参加者 55名(会員登録 11名)</p> <p>4) 無料相談会 参加者 7名</p> <p>5) その他 定員には満たないが、参加者は楽しく学ぶ事が出来た。 後日の無料相談会には、7名の方が訪れた。 初めて参加され人も多く、田から屋の新規会員登録に、30名の方が申込みされた。</p>

(4) 事業による成果及び今後の課題

成果)

- ・ホテルイタリア軒ゴンドリーナ開催という事で、オシャレを楽しんで来る人、夫婦やカップルの参加者が多かった。
- ・高齢者の抱えている不安にたいして、楽しみながら学んでもらう事が出来た。
- ・認知症の予防に役立つ、運動、体操なども体験してもらえた。
- ・家から出かけてくる、キッカケ作りになった。
- ・終活や認知症という、どちらかというと重いテーマに、うたごえやコンサートという気軽に参加できる内容を組み合わせることで、多くの高に参加してもらったと思う。

課題)

- ・ひとりひとりの課題を具体的に解決するためのセミナーや相談会が必要。
- ・健康・相続・空き家など超高齢社会の中で、取り組まなければいけない問題を、行政と連携しながら対応することが大切と痛感させられた。

7

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	97,000	97,000	
自己資金	98,000	56,020	
入場料		12,400	1月21日 62人X(1200-1000)
入場料		9,400	2月21日 47人X(1200-1000)
入場料		55,000	3月21日 55人X(2000-1000)
合 計	19,500	229,820	

195,000

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
報償費	20,000	20,000		1月21日 2名X10000
報償費	20,000	20,000		2月21日 2名X10000
報償費	110,000	110,000		3月21日 2名
印刷製本費	15,000	39,820		
委託料	30,000	0		
音響	0	40,000		3月21日 コンサート
合 計	195,000	229,820		

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。